



## 記者向け説明会「日本の北極域研究の動向」を開催

### 【概要】

気候変動に伴い、北極域をめぐる環境は大きく変化しています。進む海氷や氷河の融解、気象や海洋生態系への影響に留まらず、地球規模での社会経済活動に影響をもたらしています。

この度、第3回北極科学大臣会合（ASM3）が2021年5月8日、9日に日本で開催されるのを機会に、北海道大学北極域研究センター、国立極地研究所国際北極環境研究センター、海洋研究開発機構地球環境部門北極環境変動総合研究センターが共同で取り組んでいる、北極域に関する研究活動や研究成果を国内外のメディアに紹介する記者説明会を開催します。是非ご参加ください。

【日 時】 2021年5月6日（木）14:00-15:30

【場 所】 オンライン（Zoomを使用予定）

【共同主催】 北海道大学北極域研究センター、国立極地研究所国際北極環境研究センター、海洋研究開発機構地球環境部門北極環境変動総合研究センター、北極域研究共同推進拠点

【対 象】 報道関係者

【参加費】 無料

【言語】 日本語（日英の同時通訳あり）

【プログラム】 14:00～「日本の北極域研究の現状概要」

北海道大学 北極域研究センター センター長 深町 康 教授

14:10～「北極航路の可能性と課題」

北海道大学 北極域研究センター 大塚 夏彦 特任教授

14:25～「気象予測において北極の観測の効果はどこまで広がるか？」

国立極地研究所 国際北極環境研究センター 猪上 淳 准教授

14:40～「北極の環境変化に鋭敏に応答する海洋生態系」

海洋研究開発機構 北極環境変動総合研究センター 藤原 周 研究員

14:55～「氷の島グリーンランドで何が起きているのか－急激な環境変化とその社会影響」

北海道大学 低温科学研究所/北極域研究センター 杉山 慎 教授

15:30 終了予定

【申込方法】 報道関係者には別途通知済み

### お問い合わせ先

北海道大学 北極域研究センター・北極域研究共同推進拠点

T E L 011-706-9074 F A X 011-706-9623 メール arc\_inform[at]arc.hokudai.ac.jp

国立極地研究所 国際北極環境研究センター

T E L 042-512-0922 F A X 042-528-3195 メール aerc-kikaku[at]nipr.ac.jp

海洋研究開発機構 地球環境部門 北極環境変動総合研究センター

T E L 046-867-9320 F A X 046-867-9455 メール arcs2\_jamstec[at]jamstec.go.jp

### 配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press[at]general.hokudai.ac.jp

メールアドレスの[at]は@に置き換えてください